

高松平和病院ニュース

〒760-8530 高松市栗林町1-4-1 TEL.087(833)8113(代表) HPアドレス：<http://www.t-heiwa.com/>
発行責任者：高松平和病院 院長 蓮井宏樹 編集：広報委員会 発行年月日：2015年4月15日

新入職員が入職しました！

平成27年4月、高松平和病院に新入職員が入職しました。

今年度は、研修医1名、臨床検査技師1名、看護師6名、准看護師1名、看護助手1名の計10名の職員を新たに迎えました。

やる気と希望にあふれた新入職員達が、医療人・社会人としての知識と経験を積み、配属先で活躍できるよう職員一同、心を新たに頑張ります。

どうぞよろしくお願いいたします。



高松平和病院
理念

1. 患者の権利を守り常に信頼される医療を提供します。
2. 健康づくり、明るく安心して暮らせるまちづくりに貢献します。
3. 平和と医療、福祉を守ります。

3病棟の小児看護について



当病棟は病床数50床、整形外科・小児科・内科の混合病棟です。小児科の入院患者数は全体の1割から2割を占め、季節やその時々の流行疾患によって変動がみられています。また主に急性疾患が多く、早い段階での入院治療を行うことで、早期回復・退院を目指しています。当病棟はモジュール型看護体制ですが、小児科はチームナーシングで責任をもって看護を行っています。

当院でのプレパレーションのとりくみ

プレパレーションとは子供が採血や点滴、検査などをするときに模型や絵本などを用いて子供にあった説明をし、理解を得たうえで処置を行うことです。子供に突然処置を行うのではなく、どうやってやるのかを説明することで子供なりに心の準備ができるようになります。緊急入院が多く、処置までの間に時間がないため難しいですが、できる限り説明し理解したうえで処置を受けられるよう努力しています。



今後も、子どもの年齢や発達に応じた方法で、患児の尊厳とプライバシー、自己決定権、情報の提供、健康教育、被拘束者の権利などに考慮しながら治療行為への支援、母親及び家族への支援、子どもの発達への支援を中心に、看護を行っていきたいと思います。

(3病棟師長 片松 百恵)



病棟班会でのぜんざいパーティー

～4病棟(内科総合病棟)～

4病棟では毎月、病棟班会という行事を行っています。

毎回内容は様々ですが、1月は高松協同病院北原医師からの禁煙についての講義があり、4病棟の患者様15人ほどが参加されました。喫煙の恐ろしさや喫煙により呼吸器疾患になり



やすいことなどを学んだあと、病棟の鏡開きもかねてぜんざいパーティーを行いました。

病棟で小豆を煮て紅白のお団子を入れたぜんざいをふるまうと、普段食の細い患者様からも、「おかわり!!」と元気な声が聞かれ、にぎやかで楽しい班会となりました。

患者様が病気や健康について学ぶ事ができ、季節を感じていただける病棟班会、入院中の楽しみとしてこれからも継続していきたいと思います。

(4病棟 森長 星)



第21回学術運動交流集会

3月21日に、第21回香川民医連学術運動交流集会が香川県社会福祉総合センターで開催され、各院所から247名の参加がありました。今年の実行委員長は、昨年に引き続き平野医師に務めていただき、「見つめよう、10年後の私たち~いのち・人権・くらしを守り支える民医連の地域包括ケア~」をテーマに、計44演題の発表が8つの分散会で行われました。

また、今年は香川民医連で地域包括ケアに取り組む観点から、東京民医連・中野共立病院で地域包括ケアに取り組まれている全日本民医連副会長の山田智氏を講師にお迎えし、記念講演を行っていただきました。

最後の全体会では第2期平和学校受講生による半年間の活動報告、NPT(※1)再検討会議ニューヨーク行動参加者による決意表明、そして北原医師から香川民医連でのHPH(※2)の取り組み報告が行われました。

普段は自分の業務をこなす事で精一杯で、同じ院内にいても他職種の方々の業務内容を知る機会はめったに得られません。他職種の方々の業務の一端を知り、自分のしている業務との繋がりを感じることもできた交流集会でした。

(医事課 小磯 紗奈未)



(※1)核兵器不拡散条約

(※2)健康増進活動拠点病院

認知症サポーター養成講座を受講しました

3月6日、20日の両日、認知症サポーター養成講座が開かれ、事務職員25名が参加しました。

「老人介護支援センターほのぼの」の職員を講師に迎え、スライドや寸劇を交えながらの講座で、認知症を引き起こす原因や症状、認知症の方との接し方などを学ぶことができました。

現在、「認知症サポーターキャラバン」が全国で展開され、医療・介護の現場のみならず、行政機関



や各企業、学校でも認知症を理解するための取り組みが行われています。

認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう、職員全員認知症サポーターを目指し、今後も養成講座を継続する予定です。

(連携相談室 宮武 早苗)

職場紹介

ホスピス緩和ケア病棟（5病棟）

ホスピス緩和ケア病棟では、患者様のつらい症状を緩和し、その人らしく生きていけるように患者様とその家族を援助しています。

現在、医師1名、看護師23名、リハビリスタッフ2名、ソーシャルワーカー1名が在籍し、チーム医療を行っています。また、毎週木曜日にはボランティアさんが参加し、お茶会やたこ焼きパーティーなどのイベントを開催しています。

ホスピス緩和ケア病棟は今年の夏で開設4年となります。患者様やその家族に満足していただけるような医療が提供できるように、チームで協力し日々精進していきたいと思います。



(5病棟 中村 香梨)

※H27.3.31付で緩和ケア科 吉川 善人 医師が退職いたしました。